

2012年10月30日

『第9回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』において『奨励賞』を受賞 ～ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例の表彰～

大成有楽不動産株式会社（本社：東京都中央区京橋3-13-1 代表取締役社長：林 隆）は、本田技研工業株式会社と連名で、2012年10月25日に一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター主催による『第9回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』において、『奨励賞』を受賞しました。

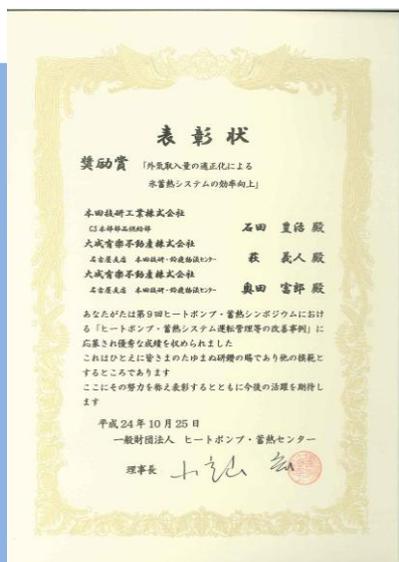
これは、大成有楽不動産が施設管理を受託している「本田技研工業(株) 鈴鹿物流センター」における「外気取入量の適正化による氷蓄熱システムの効率向上」の実績が評価されたものです。

主な改善事例の内容は、鈴鹿物流センターに導入された「氷蓄熱システム」の運転効率向上や空調設備の運転管理改善に取り組み、外気取入量が改善前より平均39%減少したことで、※エネルギー効率性が平成19年度と平成23年度の対比で平均78%削減される省電力効果を上げました。

「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」の表彰は、蓄熱システムの運転管理・運用・設備の改良（「運転管理等」という。）などにより、運転管理等の改善に効果があった事例を広く募集し、その開発や改善プロセスにおける努力を一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターが評価し表彰するものです。

大成有楽不動産は、同表彰で過去2回『努力賞』を受賞しておりますが、今回初めて『奨励賞』を受賞しました。今後も、表彰を受けた改善事例の継続管理と新たな省エネ事例に取り組み、施設管理業務において環境負荷低減に努めてまいります。

(※) エネルギー効率性の改善効果：①熱源動力の削減量 101, 318KWh / 削減率 79%
②搬送動力の削減量 46, 236KWh / 削減率 77%



《本件に関するお問合せ先》

大成有楽不動産株式会社 社長室 経営企画部 広報室 中野篤・小林志織
TEL 03-3567-9415